



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2754 URL http://www.tkhd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,963	10.7	215	23.9	225	23.8	143	25.2
2019年3月期第2四半期	3,579	1.2	173	△9.3	182	△7.3	114	△6.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 143百万円 (25.2%) 2019年3月期第2四半期 114百万円 (△6.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	29.61	28.65
2019年3月期第2四半期	23.66	22.94

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,262	4,320	68.4
2019年3月期	6,511	4,219	64.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,282百万円 2019年3月期 4,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,792	0.1	435	12.0	435	7.1	274	7.7	56.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,840,000株	2019年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,701株	2019年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,838,299株	2019年3月期2Q	4,838,299株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）におけるわが国の経済環境は、企業収益の改善の動きは横ばいの状況であるものの、雇用環境等は改善の動きを続けており、個人消費についても持ち直しの動きが見られる等、全体では緩やかに回復しつつある状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車（普通自動車）、届出車（軽自動車）ともに、モデル末期の車種等の販売が落ち込んだ一方、モデルチェンジ等の効果が持続している車種等の販売は堅調に推移したこと、消費税増税に伴う駆け込み需要も見られたこと等から当第2四半期連結累計期間の国内新車販売台数は2,621,470台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比5.6%増）となりました。

当社グループにおけるセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

自動車販売につきましては、新車販売は量販車種の販売が堅調に推移したこと等から販売台数は1,175台（前年同四半期比8.6%増）となりました。中古車販売につきましては、新車販売からの下取車、オークション等からの外部仕入により引き続き販売車両を確保し、車両販売の拡販に努めました。販売台数は871台（前年同四半期比3.9%増。内訳：小売台数402台（前年同四半期比3.1%増）、卸売台数469台（前年同四半期比4.7%増））となりました。定期点検、車検等の整備を割安でパックにした商品の拡販等により整備車両を確保できたサービス売上が堅調に推移したこと、車両販売台数の増加により登録受取手数料等の手数料収入も増加したことから売上高は3,910百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、商品構成の変化等により1件当たりの保険取扱手数料は増加したこと等から売上高は52百万円（前年同四半期比1.6%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は3,963百万円（前年同四半期比10.7%増）となり、営業利益は215百万円（前年同四半期比23.9%増）、経常利益は225百万円（前年同四半期比23.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は143百万円（前年同四半期比25.2%増）となりました。

これは、主に中核事業である自動車販売関連事業の売上高が、前年同四半期に比べて増加したことによるものです。

### （2）財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は3,072百万円となり、前連結会計年度末に比べて424百万円減少いたしました。これは現金及び預金が366百万円、受取手形及び売掛金が11百万円、商品及び製品が30百万円、その他の流動資産が15百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は3,189百万円となり、前連結会計年度末に比べて175百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が181百万円増加、投資その他の資産が5百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は6,262百万円となり、前連結会計年度末に比べて248百万円減少いたしました。

##### （負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は1,703百万円となり、前連結会計年度末に比べて363百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が9百万円増加、買掛金が76百万円、短期借入金が163百万円、1年内返済予定の長期借入金が25百万円、その他の流動負債が104百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は238百万円となり、前連結会計年度末に比べて14百万円増加いたしました。これはその他の固定負債が14百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は1,942百万円となり、前連結会計年度末に比べて349百万円減少いたしました。

##### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は4,320百万円となり、前連結会計年度末に比べて100百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益143百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は68.4%（前連結会計年度末は64.3%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ366百万円減少し、当四半期連結会計期間末には1,608百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は81百万円（前年同四半期は251百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益225百万円から主に減価償却費53百万円、たな卸資産の減少額12百万円、その他の資産の減少額15百万円、売上債権の増加額24百万円、仕入債務の減少額76百万円、その他の負債の減少額53百万円及び法人税等の支払額73百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は211百万円（前年同四半期は22百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出216百万円、貸付金の回収による収入5百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は236百万円（前年同四半期は177百万円の使用）となりました。これは借入金の返済による支出188百万円、配当金の支払額48百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は概ね計画通り推移していることから、2019年5月10日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,975,522	1,608,680
受取手形及び売掛金	1,033,277	1,021,624
商品及び製品	403,327	372,484
その他	85,037	69,973
流動資産合計	3,497,165	3,072,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	468,713	452,086
機械装置及び運搬具(純額)	197,990	183,327
土地	2,109,461	2,321,734
建設仮勘定	10,800	11,980
その他(純額)	4,918	4,463
有形固定資産合計	2,791,883	2,973,591
無形固定資産	528	322
投資その他の資産	221,481	215,637
固定資産合計	3,013,893	3,189,551
資産合計	6,511,059	6,262,315
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	473,995	397,062
短期借入金	1,014,354	851,181
1年内返済予定の長期借入金	29,145	4,143
未払法人税等	59,756	68,767
賞与引当金	50,224	46,726
その他	439,832	335,692
流動負債合計	2,067,307	1,703,572
固定負債		
その他	223,945	238,548
固定負債合計	223,945	238,548
負債合計	2,291,253	1,942,121
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,776,291	3,871,191
自己株式	△673	△673
株主資本合計	4,187,199	4,282,100
新株予約権	32,606	38,093
純資産合計	4,219,806	4,320,194
負債純資産合計	6,511,059	6,262,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,579,064	3,963,561
売上原価	2,766,035	3,096,376
売上総利益	813,029	867,184
販売費及び一般管理費	639,201	651,742
営業利益	173,828	215,442
営業外収益		
受取利息	558	472
受取手数料	8,993	9,660
その他	2,241	2,599
営業外収益合計	11,794	12,732
営業外費用		
支払利息	3,442	2,744
その他	100	0
営業外費用合計	3,542	2,744
経常利益	182,079	225,430
特別損失		
固定資産処分損	2,583	—
特別損失合計	2,583	—
税金等調整前四半期純利益	179,496	225,430
法人税等	65,013	82,147
四半期純利益	114,483	143,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,483	143,283

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	114,483	143,283
四半期包括利益	114,483	143,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,483	143,283
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	179,496	225,430
減価償却費	60,268	53,556
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,064	△3,497
株式報酬費用	5,186	5,487
受取利息及び受取配当金	△558	△472
支払利息	3,442	2,744
固定資産処分損益 (△は益)	2,583	—
売上債権の増減額 (△は増加)	270,547	△24,225
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△106,115	12,597
仕入債務の増減額 (△は減少)	△27,043	△76,932
その他の資産の増減額 (△は増加)	5,423	15,933
その他の負債の増減額 (△は減少)	△43,735	△53,640
小計	348,429	156,981
利息及び配当金の受取額	29	29
利息の支払額	△3,488	△2,689
法人税等の支払額	△93,512	△73,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	251,458	81,168
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,979	△216,813
貸付金の回収による収入	5,364	5,364
差入保証金の差入による支出	△38	△278
差入保証金の回収による収入	—	275
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,653	△211,453
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△104,256	△163,172
長期借入金の返済による支出	△25,002	△25,002
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,641	△236,557
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	51,163	△366,842
現金及び現金同等物の期首残高	1,665,513	1,975,522
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,716,676	1,608,680

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	3,527,262	51,802	3,579,064
セグメント間の内部売上高又は振替高	56	89,125	89,181
計	3,527,318	140,927	3,668,246
セグメント利益	242,758	17,846	260,604

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,758
「その他」の区分の利益	17,846
セグメント間取引消去	3,181
全社費用(注)	△89,957
四半期連結損益計算書の営業利益	173,828

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	3,910,925	52,636	3,963,561
セグメント間の内部売上高又は振替高	130	88,044	88,174
計	3,911,055	140,680	4,051,735
セグメント利益	300,160	17,373	317,533

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

これまで「新車販売」、「中古車販売」をそれぞれ別の連結子会社で運営しており、前期に当該2社を合併した後もそのまま踏襲しておりましたが、よりの確な経営判断を行うために報告セグメントを見直し、「自動車販売」全体として見ることにしたことから、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメントの区分を変更した後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	300,160
「その他」の区分の利益	17,373
全社費用(注)	△102,091
四半期連結損益計算書の営業利益	215,442

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。